

事務事業評価(事前評価)シート【令和2年度】

主管課(担当名)	水産振興課(水産指導担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	水産研究所整備事業	事業番号	11330

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-2	沿岸漁業の振興
	施策目標	持続可能で魅力ある沿岸漁業を展開するまち	

2 事務事業の目的

目的	ハナサキガニやホツカイエビ、ヤナギダコ等の種苗生産を円滑に実施できるよう、水産研究所を整備する。
成果	水産研究所の整備により、ハナサキガニやホツカイエビ、ヤナギダコ等の資源増大を目指し、沿岸漁業の経営安定化と持続的な発展が図られる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	H30							
	R1							
	R2	高圧機器更新工事						
	R3	外部補修工事、突出窓金具交換工事						
	R4	ろ過器ろ材交換業務委託						
事業費と内訳	(単位:千円)		H30	R1	R2	R3	R4	総事業費
	事業費				3,597	4,499	7,233	15,329
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			3,500			3,500
		一般財源			97	4,499	7,233	11,829
	人員(人工)				0.08	0.08	0.08	0.24
職員費(人員×7,693千円)				615	615	615	1,847	
総事業費				4,212	5,114	7,848	17,176	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R1)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	適正に管理する施設	1施設	1施設	1施設

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	ハナサキガニやホッケイエビ、ヤナギダコ等の種苗生産が円滑に実施することができる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 沿岸漁業は漁家経営の安定と共に市内経済にも影響するため市民ニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市直営事業のため、市が実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 適切に維持管理しなければ種苗生産業務に支障がでるため、緊急性はある。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 他に代替となる手段がなく妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 沿岸漁業は市内4漁協全てに関わりがあり、概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 水産研究所を適切に維持管理することで種苗生産業務を円滑に実施できるため、有効性はある。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 速やかに事業を推進し、沿岸漁業の経営安定化と持続的な発展を目指して、計画を推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 速やかに事業を推進し、円滑な施設管理、運営に努めるとともに、育てる漁業による沿岸漁業の振興に取組む。

作成年月

令和2年6月

事務事業評価(事前評価)シート【令和2年度】

主管課(担当名)	水産振興課(水産指導担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	栽培漁業研究センター管理運営経費	事業番号	00410

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-2	沿岸漁業の振興
	施策目標	持続可能で魅力ある沿岸漁業を展開するまち	

2 事務事業の目的

目的	ハナサキガニやホッケイエビ等の種苗生産を円滑に実施できるよう、栽培漁業研究センターを維持管理する。
成果	沿岸漁業振興のため、ハナサキガニやホッケイエビ等の資源増大を図る。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	H30							
	R1							
	R2							栽培漁業研究センター管理運営
	R3							栽培漁業研究センター管理運営
	R4							栽培漁業研究センター管理運営
事業費と内訳	(単位:千円)		H30	R1	R2	R3	R4	総事業費
	事業費				35,513	34,517	34,297	104,327
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			902	902	902	2,706
		一般財源			34,611	33,615	33,395	101,621
	人員(人工)				2	3	3	8.00
	職員費(人員×7,693千円)				15,386	23,079	23,079	61,568
	総事業費				50,899	57,596	57,376	165,895
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R1)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	ハナサキガニの種苗生産数	-	130万尾	130万尾
	ホッカイエビの種苗生産数	-	5万尾	30万尾

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	ハナサキガニやホッカイエビ等の沿岸資源の増大が期待される。
-------------------	-------------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 沿岸漁業は漁家経営の安定と共に市内経済にも影響するため市民ニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市直営事業のため、市が実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 沿岸漁業振興のための資源増大対策が急務であるため、緊急性はある。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 栽培漁業が推奨されている現在、手段は適切である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 沿岸漁業は市内4漁協全てに関わりがあり、概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 栽培漁業研究センターを適切に維持管理することで種苗生産業務を円滑に実施できるため、有効性はある。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を進めるとともに、関係機関と連携を図り、ハナサキガニ・ホッカイエビの漁獲量の増加、また沿岸漁業の振興発展に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 速やかに事業を推進し、円滑な施設管理、運営に努めるとともに、育てる漁業による沿岸漁業の振興に取組む。

作成年月

令和2年6月